

(音楽) 科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 中学器楽 音楽のおくりもの 器楽・773
取 扱 内 容	<p>○ 器楽の表現においては、様々な和楽器を取り上げ、簡単な楽曲を演奏したり、リコーダーやギターによる重奏曲を演奏したりする活動を通して、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現することができるようになっている。また、和楽器やリコーダー、打楽器などを用いて、曲想にふさわしい表現を工夫したり、音色に気を付けて演奏したりする活動を通して、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現することができるようになっている。</p> <p>○ [共通事項]については、我が国の伝統音楽の音階の特徴を生かしながら演奏したり、フレーズや音の長さ、音のつながり方に気を付けて演奏する活動ができるようになっている。また、旋律の特徴を生かして演奏したり、各声部のかわり合いを感じながら演奏したりする活動ができるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、楽器の構え方や奏法等の写真や図を参考にして楽器の奏法を身に付けたり、各楽器ごとに簡単な独奏や二重奏を演奏したりするなど、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動が取り上げられている。</p>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、楽器の基本的な奏法や練習曲などを学習する活動の後に、和楽器などの様々な演奏形態による合奏を行う活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。また、和楽器とその奏法等について取り上げるなど、日本の伝統的な音楽を実際に演奏体験をすることができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、教材数は65であり、総ページ数は99ページで、前回より約8%増となっている。</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、多様な音楽への興味・関心が高まるように、幅広いジャンルの演奏家の写真とメッセージを巻頭に掲載している。また、多様な音楽に触れることができるように、様々な日本の横笛に関する内容などを扱い、クラシックからポピュラー、我が国の伝統音楽、諸外国の民族音楽など、様々なジャンルから選曲している。</p> <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、キャラクターの「吹き出し」において学習活動のヒントを掲載したり、合奏曲の随所において「演奏のポイント」を示したりしている。また、グループ活動等によって学習を進めることができるようにしたり、個人の創造性を培うことができるようにしたりしている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、巻末に各学年で学習した[共通事項]を示したり、学習参考資料としてリコーダーの運指表やギターのコード表などを掲載したりしている。また、学習内容を目次で多色で色分けして教材を分類するなどし、学習内容と各教材との関連に配慮している。さらに、全ての生徒が学習しやすいよう、判別しやすい配色やレイアウト、文字の大きさにするなど、工夫されている。</p>

(音楽) 科調査研究報告書

書名 観点	教育芸術社 中学生の器楽 器楽・774
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 器楽の表現においては、様々な楽器を数多く取り上げ、簡単な楽曲を演奏したり、リコーダーを中心とした重奏や合奏したりする活動を通して、基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫して表現することができるようになっている。また、和楽器やリコーダー、打楽器などを用いて曲想にふさわしい表現を工夫したり、旋律の流れに気を付けて演奏したりする活動を通して、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現することができるようになっている。 ○ [共通事項]については、声部の重なり方の特徴を生かしながら合奏したり、フレーズや音の長さ、音の高さの変化に注目して演奏したりする活動ができるようになっている。また、曲の構成を生かしてリズムを工夫したり、和音の変化を感じ取りながら演奏したりする活動ができるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、楽器の構え方や構造等の写真や図を参考にして楽器の奏法を身に付けたり、各楽器ごとに簡単な独奏や二重奏を演奏したりするなど、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動が取り上げられている。
内容の 排列、 分量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、楽器の基本的な奏法や練習曲などを学習する活動の後に、打楽器などの様々な演奏形態による合奏を取り扱うなど、系統的、発展的に学習できるように工夫されている。また、和楽器とその奏法等について取り上げるなど、日本の伝統的な音楽を実際に演奏体験をすることができるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、教材数は56であり、総ページ数は89ページで、前回と同様となっている。
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、多様な音楽への興味・関心が高まるよう、幅広いジャンルの演奏家の写真とメッセージを巻頭に掲載している。また、多様な音楽に触れることができるように、各種打楽器に関する内容などを扱い、クラシックからポピュラー、我が国の伝統音楽、諸外国の民族音楽など、さまざまなジャンルから選曲している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、キャラクターの「吹き出し」において学習活動のヒントを掲載したり、アンサンブルの各曲において「活動のポイント」を示したりしている。さらに、グループ活動等によって学習を進めることができるようにしたり、個人の創造性を培うことができるようにしたりしている。 ○ 使用上の便宜については、巻末の「音楽の約束」で各学年で学習した[共通事項]を示したり、資料として日本の伝統音楽の楽器や編成などを掲載したりしている。また、学習内容が一目で分かるよう「音楽学習MAP」を掲載するなどし、学習内容と各教材との関連に配慮している。さらに、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいレイアウトにするなど、工夫されている。